2016 年 7 月

修士論文作成に関する注意

数　理　工　学　専　攻

（１） 修士論文にはＡ４の用紙を用いること。

（２） 本文の前に中表紙、１頁以内の摘要、および１頁以内の目次を付すること。

（３） 本文、摘要、及び目次は片面に横書で記載すること。

（４） 表紙をつけ、左側を仮綴りして提出する。したがって、綴代として左端を３㎝程度あけること。

（５） 表紙および背表紙に関してはそれぞれ定められた TeX file（専攻のＨＰからダウンロード可）を用いて作成すること。

（６）記載は簡潔を旨とし、式の誘導などは適宜、付録に記載すること。

（７）略語は原則として使用しない。英語の専門用語で頭文字を並べた省略形を用いる場合は、初出時にその原形を明らかにすること。

（８）文献から文章などを直接引用した部分については、その文献を本文中または脚注に明示すること。

（９）図表は、その説明のある頁の前または後ろに綴じ込むかその頁内にはめ込むこと。

(10) 文献の引用、その他については、図書室に備えた見本の修士論文を参考にすること。

(11) 論文とは別に、論文タイトル、著者名、摘要を１頁以内にまとめ、論文と同時に提出すること。

(12) 修士論文の著作権は、著作権法第１８条により著作者に帰属する。なお、提出した著作物の複写についての権限は、数理工学専攻（著作者の指導教員又は専攻長）に委譲される。

(13) 修士論文の成果をもとに特許出願を予定している場合は、摘要の最上部に「京都大学情報学研究科数理工学専攻主催　平成〇〇年度修士学位論文発表会」と明記すること。